

●正副議長と議会運営委員長は、慣例で、一般質問を行わないこととしています

一般質問を行った議員です(発言順)

質問者の発言の
題目はこちら↓



西星五綿古渡船	9月5日	川久金山高長鈴	9月4日	内村日富浜及森	9月3日	市森小石岸玉立	9月2日
室野間林里口木		村井子本橋		田松部永野川		川重林井田正川	
真直 夕 幸 翔		奈博亜貴 順		由 広純正賢喜		克博秀宏功彩寛	
希美浩夏郎禎平		緒緒美子士剛子次		利徹志子太一彦		宏正司和典加之	

環境

記録的な猛暑への さらなる対策を

問

猛暑対策の一つである「まちなか避暑地※」について、設置施設数は増えているとのことだが、設置地域に偏りはないのか。

答

まちなか避暑地は商業施設の協力も得て運営しているため、地域によって偏りは生じている。市民の利便性向上のため、市域を区分して施設数を管理するなど工夫しており、今後も、できる限り地域に偏りが生じないように調整していく。



問

まちなかで水分補給できる給水スポットの整備が推進されている。プラスチック削減という環境面の観点からも、マイボトルを使って水分補給できるボトルディスプレイ型水飲栓を、今後増やしてもらいたいがどうか。

答

まちなか避暑地において水分補給ができる箇所を多く設けている。ボトルディスプレイ型水飲栓を、今後増やしてもらいたい。



まちなか避暑地の利用推進等で、暑さ対策・熱中症予防へ

問

八王子駅北口マルベリーブリッジに設置されたミストシャワーのように、気化熱によって一帯を冷やすことは暑さ対策の基本と考える。都などが後援する打ち水の取り組みも広がっているが、本市も打ち水を積極的に進めてはどうか。

答

気化熱を利用した暑さ対策は、都市部のヒートアイランド現象の緩和や、熱中症予防に有効な手段と認識している。打ち水は市民参加型の活動として親しみやすく、環境意識の向上にもつながることから、今後、他市の状況等を確認していく。

環境活動の担い手や 意識を育む施策の展開は

問

自然環境の保全・活用は、行政だけではなく、市民との協働で進めることが重要であると考えており、そのためには、環境活動の担い手となる人材育成が求められる。さらに充実した環境教育・学習を実施し、人と自然が豊かにつながるまちを目指すことについての考えを聞きたい。

答

本市の環境資源である自然環境を学習素材として最大限活用し、特に次世代を担う子どもたちへの環境体験学習を充実させることで、行動を起こせる人材を育むとともに、環境保全活動の活性化や意識の高揚を図っていく。

問

リチウムイオン電池廃棄 啓発等の取り組みは

リチウムイオン電池が取り外せない製品等は、有害ごみとして収集しているが、誤って不燃ごみとして排出され、ごみ収集車や処理施設に混入すると、火災事故の原因にもなり得る。火災を未然に

答

有害ごみとして適正な排出を促す必要があり、分別アプリやイベントでの啓発等、あらゆる機会を通じて情報発信している。動画は幅広い世代に有効と考えており、より多くの方に見てもらえるよう、SNS等を活用してわかりやすい周知に努めていく。

問

リチウムイオン電池に起因する火災を防ぐには、市民一人ひとりの適切な対応が不可欠である。適正な廃棄手順について、動画等を活用し、より多くの市民に向け発信してもらいたいがどうか。

答

防ぐための対策は、



アプリなどさまざまな方法で、リチウムイオン電池の適正な廃棄手順等を周知

※空調が効いた涼しい公共施設や商業施設等を開放することで、家庭での節電のほか熱中症対策、地域経済の活性化を図る取り組み